



循環型社会をめざして



わたしたちの豊かで便利な生活は、大量の資源やエネルギーを消費し、いろいろな製品を大量に生産して使用し、その後不要になったものを大量に廃棄する「使い捨て」の流れでした。

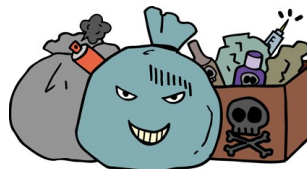
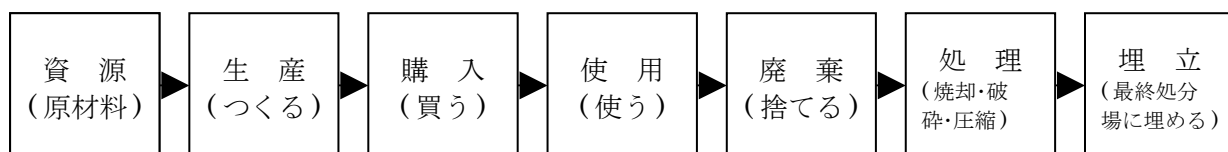
しかし、その結果、地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊、廃棄物の問題、資源の枯渇などさまざまな環境問題が発生しています。

これまでは…

これまでの『使い捨て社会』（ワンウェイ社会）の流れ

こちらが大量生産・大量消費・大量廃棄していた使い捨て社会の流れです。

このままでは最終処分場（埋め立て地）が不足し、資源もいずれ無くなってしまいます。

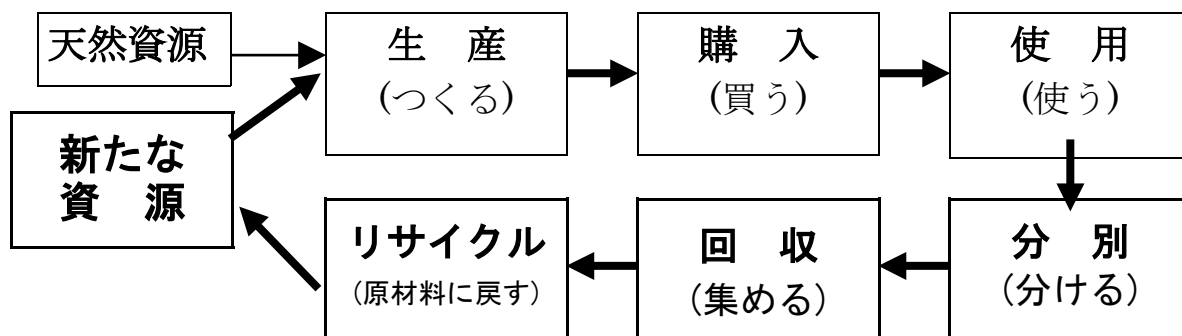


持続的な社会『循環型社会』への移行

これからは…

資源が『環(わ)』のようにぐるぐると回っている

『循環型社会』を目指していきます。



もしいまの生活を続けたら・・・

わたしたちの子どもや孫の世代を含む未来のすべての世代の生存に対して責任があるということを認識しなければなりません。たとえば、埋蔵量が有限である化石燃料資源を使いつくしてしまえば、将来その世代はその資源を使えなくなってしまいます。

また、わたしたちが地球環境を破壊してしまえば、わたしたちが加害者、将来世代は被害者という関係になります。将来世代には責任がないにもかかわらず、過去世代から与えられた不利益を被って生活していかなければなりません。

2005年末のデータによると、いまのまま化石燃料を使い続けると石油は41年、天然ガスは65年、石炭は155年、ウランは85年で枯渇するといわれています。

化石燃料の延命のためにも“ムダ”をなくしていきましょう。